

令和5年（2023年）

第1回大阪狭山市教育委員会  
定例会議議事録

令和5年（2023年）1月26日 開催

大阪狭山市教育委員会

## 第1回大阪狭山市教育委員会定例会議議事録

令和5年（2023年）1月26日（木）

午前9時30分 開議

市役所3階 委員会室

### 出席委員（4名）

竹谷 好弘	教育長
山田 順久	教育長職務代理者
田川 宜子	委員
井上 寿美	委員

### 出席事務局の職員

山田 裕洋	教育部長
寺下 憲志	教育監
山本 泰士	こども政策部長
浜口 亮	教育部次長兼教育総務グループ課長
塚本 浩二	こども政策部次長兼保育・教育グループ課長
酒谷由紀子	学校教育グループ課長
高橋 伸幸	社会教育グループ課長
井上 知久	子育て支援グループ課長
寺本 芳之	歴史文化グループ課長

### 書記

安達奈津芽	教育総務グループ主幹
平井 大地	教育総務グループ主任
山田 修平	教育総務グループ主任

議事日程

開会

教育長活動報告

議事

日程第1 報告第1号 大阪狭山市教育委員会事務局の管理職人事異動について

日程第2 報告第2号 令和4年度（2022年度）大阪狭山市一般会計補正予算（第14号）教育委員会関係について

閉会

○各グループの報告事項

**教育部長（山田裕洋）**

それでは、定刻になりましたので、ただいまより教育委員会定例会議のほうを始めさせていただきます。

教育長、よろしく願いいたします。

**教育長（竹谷好弘）**

改めまして、おはようございます。

ただいまより令和5年第1回教育委員会定例会議を開会いたします。

本日の出席委員数は定足数に達しておりますので、会議は成立しておりますことをご報告いたします。

なお、議事録の署名委員は、会議規則によりまして、山田教育長職務代理者、井上委員を指名いたします。

教育長活動報告でございます。

1 ページをめくっていただきまして、前回から年末年始を挟んでおりまして、1月8日、新春こどもまつりの様子を見学してまいりました。

1月9日、はたちの集いということで、教育委員さんにもご出席いただきましてありがとうございました。これらも後ほどグループ報告させていただきますと思います。

1月13日、令和4年度認定子育てサポーター養成講座開講式ということで、これに開校のご挨拶をまいりました。3月8日まで全8回の講座ということで、今回15名の受講者がございます。毎回違う講師の方々に来ていただいて養成講座ということで、井上委員のほうにも第4回で「子育て家庭の現状と課題」ということをご講義をお願いしているということで、どうぞよろしくお願いいたします。

1月17日、まるごとパック（狭山中学校）、これ学校活動の様子を視察してまいりました。

1月22日、職員採用試験ということで、幼稚園、保育所ということで、最終面接ということで実施をいたしました。

最後、1月23日、狭山高校との包括連携協定締結式ということで、これ市と狭山高校、様々な分野で連携していこうということで、活動していこうということでの協定を締結いたしました。

簡単ですけども、以上、報告とさせていただきます。よろしいでしょうか。

教育部長、このまま人事異動内示に入っておりますか。

**教育部長（山田裕洋）**

はい。こちらにつきましては非公開の手続。

**教育長（竹谷好弘）**

非公開ということの扱いの確認ですね。

**教育部長（山田裕洋）**

はい。

**教育長（竹谷好弘）**

議事に入ります前にお諮りしたい案件でございます。本定例会に提出されている議案のうち、報告第1号については、会議規則第7条のただし書に規定しております人事に関する事案ということでございまして、これを公開しないことができるかとされておりまして、非公開の審議を諮り、可否を決したいと思っております。本件を非公開とすることにご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

異議がございませんので、報告第1号につきましては非公開とさせていただきます。よろしいですね。

では、本日の議案でございます。

日程第1、報告第1号、大阪狭山市教育委員会事務局の管理職人事異動についてを議題いたします。

非公開案件となりますので、部長・教育監以外の方は退席をお願いいたします。

（非公開）

それでは、続きまして、日程第2、報告第2

号、令和4年度（2022年度）大阪狭山市一般会計補正予算（第14号 教育委員会関係）についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

### 子育て支援グループ課長（井上知久）

それでは、報告第2号、令和4年度（2022年度）大阪狭山市一般会計補正予算（第14号 教育委員会関係）について、子育て支援グループからご説明いたします。

3ページをご覧ください。

本件につきましては、先月21日に開催されました令和4年招集大阪狭山市議会定例会12月議会にて予算承認いただき、本年1月1日からスタートしています出産・子育て応援給付金の支給に要する補正予算でございます。

事業の概要といたしまして、全ての妊娠・子育て家庭が安心して出産や子育てができる環境整備を行うため、国の令和4年度第2次補正予算により新たに出産・子育て応援交付金が創設されました。この交付金の活用により、妊娠から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、様々な支援や制度につなぐ伴走型の相談支援の充実と併せて経済的支援を一体的に行っていくものでございます。

なお、本市では、伴走型の相談支援につきましては、健康福祉部健康推進グループ、保健センターが、また、経済的支援につきましては、こども政策部子育て支援グループが担い、互いに連携しながら事業を実施していきませんが、今ご説明させていただいております本予算は、経済的支援を要する補正予算の計上でございます。

簡単に事業内容をご説明させていただきます。

まず初めに、健康推進グループが担う伴走型相談支援の内容としましては、妊娠届出時と妊娠8か月頃、それと妊娠届から乳幼児家庭全戸訪問までの計3回のタイミングで面談を行い、

出産・育児等の見直しを共に立てることや、また出産後の面談では、出産後の育児の悩みや疲れに寄り添うとともに、子育てガイドに沿って産後に利用可能な制度や手続などについて共に確認する事業内容となっております。

次に、子育て支援グループが担う経済的支援では、先ほどご説明させていただきました3回の面談のうち、妊娠届出後の面談を終えた妊婦に出産応援ギフトの申請書をお渡しし、申請のあった妊婦へ5万円分の出産応援ギフトを、また、出生届出後、乳児家庭訪問時には子育て応援ギフトの申請書をお渡しし、申請のあった養育者へ5万円分の子育て応援ギフトをそれぞれ支給してまいります。

なお、出産・子育て応援ギフトにつきましては、出産・育児関連用品の購入費用などに利用できるクーポンや、妊婦健康診断、交通費やベビー用品などの費用助成などが国から示されていますが、現金による給付も認められていることから、本市ではできるだけ早期に支援をお届けできるよう、当面の間は現金による給付としております。

この事業は令和4年4月1日以降に妊娠・出産された方が対象になりますが、遡及適用としまして令和4年4月1日から令和4年12月31日までに出生された方には、出産応援ギフト分の5万円と子育て応援ギフト分の5万円の計10万円の支給となります。今週月曜日にこの対象者へ申請に必要な関係書類を送付させていただいたところでございます。

また、令和4年4月1日から令和4年12月28日までに妊娠届を出された方には、出産応援ギフト分5万円の支給に必要な関係書類を1月31日に発送する予定となっております。

それでは、補正予算額を費目ごとにご説明させていただきます。

歳出のところでございますが、会計年度任用

職員報酬に38万4,000円、時間外勤務手当に23万1,000円、通勤手当に1万5,000円、消耗品費などの需用費に15万7,000円、通信運搬費等の役務費に36万5,000円、電算システム改修業務委託料に242万円、出産・子育て応援給付金に6,250万円で、歳出の合計は6,607万2,000円の計上となっております。

歳入につきましては、市長部局の健康福祉部、健康推進グループから衛生費国庫補助金4,485万4,000円、それと衛生費府補助金1,066万3,000円の合計5,551万7,000円が予算計上されております。

以上、誠に簡単な説明でございますが、よろしくお願いたします。

#### 教育長（竹谷好弘）

ただいまの説明につきまして、何かご確認、ご質問等ございませんでしょうか。

それでは、私から、一番金額の多い6,250万の、この積算内訳だけちょっと。さっきの説明で5万円という話でしたかね。対象人数とか、ちょっとその辺だけ。一番金額が多いので、ちょっと内訳の説明だけでもう一遍してもらえますか。

#### 子育て支援グループ課長（井上知久）

少しお待ちいただけますか。

#### 教育長（竹谷好弘）

部長。

#### こども政策部長（山本泰士）

一応、出産・子育て応援ギフト、給付金ということで現金で支給、6,250万円の内訳ですけれども、出産・子育て応援ということで、出産応援10万円の遡及の支払いのほうが、一応積算しているのが350人。

#### 教育長（竹谷好弘）

掛ける。

#### こども政策部長（山本泰士）

10万円です。一括払い。一応、予算上の積算

としては350掛ける10万円。

それと、本市の場合は令和5年1月1日を事業開始日としておりまして、今回の遡及対象の令和4年4月1日から12月31日までの分が、そこで出産された方については10万掛ける350人、それと出産応援ギフトという出産だけの部分で見ますと5万円掛ける430人、それから子育て応援ギフトということで、実際に、出産応援ギフトは妊娠された方々が対象で、子育て応援ギフトが実際に出産された後の方が対象ですけれども、そちらのほうは5万円掛ける120名ということで、合計で6,250万円という積算になっております。よろしいでしょうか。

#### 教育長（竹谷好弘）

そしたら積算内訳ということで、そういうことでございます。

何かほかございませんでしょうか。

そしたら、ないようでございますので、本案を原案どおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

日程第2、報告第2号、令和4年度（2022年度）大阪狭山市一般会計補正予算（第14号 教育委員会関係）については承認されました。

本日の議案は以上でございますので、これをもちまして定例会を閉会いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、署名する。

教育委員会教育長

教育委員会教育長職務代理者

教育委員会 委員

教育委員会事務局職員